



霧島町立大田小学校3年生 総合的な学習成果の紹介



「霧島市もっと知りたい！」

1市6町の地域内に住む児童・生徒を対象に合併についての疑問を通して合併に関心を持ってもらうと同時に、いま自分たちが住んでいる「まち」がどんなまちで、これからどんな「まち」を目指しているのか考えてもらうために、平成16年4月に「キッズ情報」を発行しました。

霧島町立大田小学校の3年生は、学校の総合的な学習の時間を利用して市町村合併に関心を持ち、合併協議会で発行した「キッズ情報」を基に、合併協議会の見学や事務局からの出前授業を受けながら、11月7日に誕生する「霧島市」の市勢について調べる活動を通して、自分たちの住むまちの良さを見つめ直し、豊かな将来像を描きました。

その活動成果として校内発表会が平成17年2月25日に行われましたので、これまでの活動経過や発表の様子をほかの学校のみんなにも紹介します。

ほかの学校のみんなも大田小学校の仲間にはげないように合併について学習してみよう！

【大田小学校の学習事例】



1. 活動経過

- (1) 合併によって誕生する「霧島市」について調べ、疑問点を整理する。
- (2) テーマ（各市町の人口、面積、特徴など）を決めて調べる。
- (3) 合併協議会の出前授業（講演）を受講し、合併協議会や事務局の見学を行う。
- (4) 調べる各市町ごとのグループを作り、インターネットや図書を活用して調べる。
- (5) 調べた結果をわかりやすく工夫してまとめる。
- (6) 霧島市民として取り組んでいきたいことや目標を整理する。

2. 発表会

ワークショップ(共同研究)形式でグループごとに発表する。

(1) 第1ブロック

仲間になる1市6町の紹介

- ・まちごとの人口、面積、キャッチフレーズや特徴



(2) 第2ブロック

どうして「合併」なの？

- ・合併の必要性和良い点、悪い点



(3) 第3ブロック

大きく育て「霧島市」

- ・合併したらどんなまちになるか。霧島市への夢や将来像

《発表会の感想》

3年生という発達段階に応じた疑問を通して、グループごとに1市6町の人口、面積、まちの特徴などについてよく調べてあり、合併の必要性も十分理解されており、11月7日に誕生する「霧島市」に対する夢や将来像が工夫して描かれており、大人顔負けの豊かな創造力に感銘しました。

発表を聞きに来られていた保護者や地域の方々も素晴らしい発表内容に涙が出るほど感動したと言われていました。

キッズ情報を有効に活用いただき、ありがとうございました。(合併協議会計画班)



おおたしょうがっこう ねんせい かつどうせい いかしゃしんしゅう
大田小学校3年生の活動成果写真集



そうごうてき がくしゅう じゆぎょう
 総合的な学習の授業



インターネットでしらべる



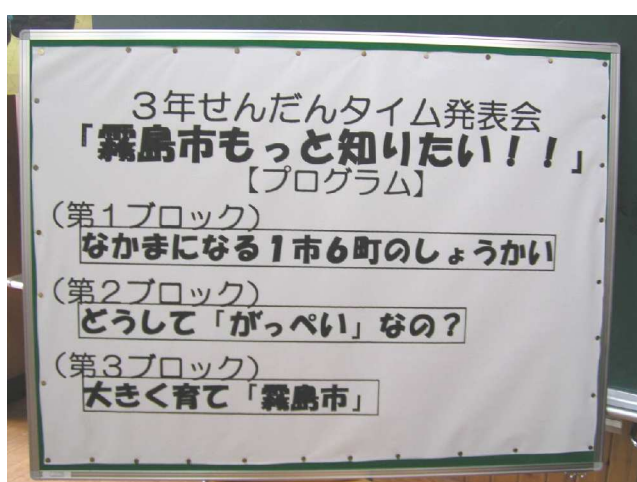
がっぺいきょうぎかいで まえじぎょう
 合併協議会出前授業 (10月19日)



がっぺいきょうぎかい けんぐ
 合併協議会の見学 (10月28日)



せんだんタイム はっぴょうかい
 せんだんタイム発表会 (2月25日)



はっぴょうかい
 発表会プログラム



はっぴようまゑ げんき ねんせい
発表前の元気な3年生



こくぶんし市 しょうかい
国分市の紹介



みづべちちょう しょうかい
溝辺町の紹介



よこがわちょう しょうかい
横川町の紹介



まきぞのちょう しょうかい
牧園町の紹介



きりしまちょう しょうかい
霧島町の紹介



華人町の紹介



福山町の紹介



どうして合併するのか？



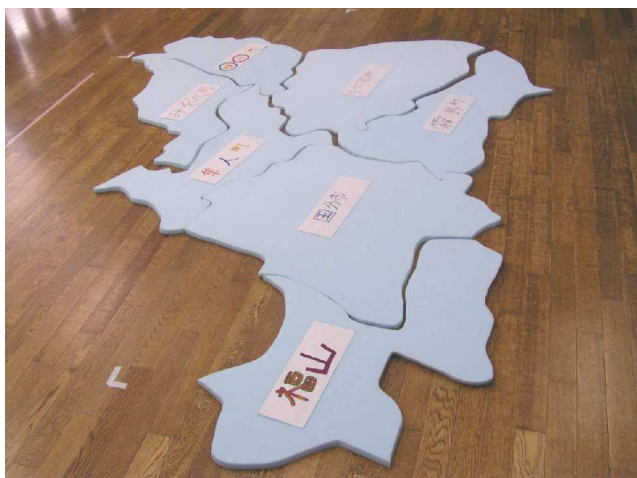
合併の必要性



合併の良い点



合併についてのまとめ



1市6町のパネルがったい



新市「霧島市」の紹介



子どもたちがたくさん遊ぶ場所があるまち



健康けんこうにくらせる町まち



みんなが^{あんしん}安心してくらせるまち



みんながうらやましくなるまち

「霧島市 もっと知りたい！」 単元の概要と活動経過について

霧島町立 大田小学校
3年い組担任 飯訪園 盛人

1 単元について

(1) 設定の趣旨・背景

本単元では、総合的な学習の時間の学習を新たに始める第3学年の2学期に、我が町霧島町の今後の在り方が問われている市町村合併の問題を特設して取り上げることで児童の発達段階に応じた疑問や願いを明らかにし、これまで理解の比較的浅かったこの問題に対する児童の興味関心を最大限に引き出すことができると考えています。また、そこで生じる高い活動意欲は、教科の枠を超えた主体的で活発な活動を展開するために必要不可欠な要素であると捉えています。

このような学習は、これからの総合的な学習の時間における意欲的な活動につながり、そこでの出会いや新たな発見は、霧島そして霧島市を誇りに思う郷土愛を育む実践的な活動に発展するものであります。

(2) 単元の活動計画

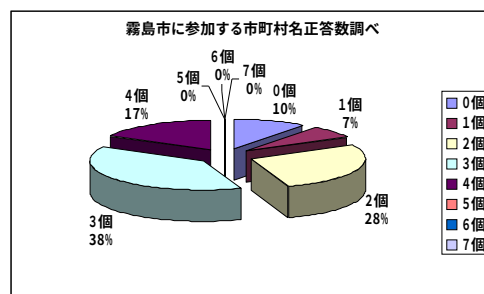
単元名	「霧島市」もっと知りたい！		全 30時間
目 標	○ 合併によって誕生する「霧島市」の市勢について調べる活動を通して、自分たちの住む町の良さを見つめ直し、豊かな将来像を描くことができる。 ○ 設定した課題を、どのようにして解決していくか計画を立て、主体的な調べ活動を行うことができる。		
時 間	お も な 学 習 活 動		
ふれる つかむ 3	1 県内でもたくさんの合併が行われることを知り、霧島の将来について話し合う。 合併によって誕生する「霧島市」について調べよう。 2 見付けた疑問について互いに発表して整理しよう。 ※協議会事務局の方より講演		
たてる 2	3 自分の取り組むテーマを決めて調べる計画を立てよう。 テーマを決めて、調べることや調べ方などについて計画を立てよう。 ※合併協議会・事務局見学 霧島市のなぞ ○人口 ○年齢構成 ○面積 ○小中高大学の種類と数 ○観光 ○産業 ○交通（国道と主要県道、高速道路、鉄道、港）○名物 ○これからの霧島 ○これからの霧島市		
調べる 1 2	4 合併を予定している市町ごとにグループを作り調べ活動を行う。 調べる方法を工夫して、テーマをより深くほりさげよう。 フィールドワークを行う 地域の詳しい人たちに質問する インターネットで調べる 本や図鑑で調べる		
まとめる 1 2	5 調べた結果を分かりやすくまとめる。〔10時間〕 発表の方法を工夫して、調べた結果をまとめよう。 実演して発表する パネルやポスターでまとめる 壁新聞にまとめる クイズ形式にまとめる。		

	6 リハーサルをし、発表会をする。
ふり返る 1 □	7 発表をもとに感想を出し合い、もっと調べてみたいことや、してみたい活動を見付ける。 学んだこと振り返り、これからしてみたい活動について考えよう。 ・新しく誕生する霧島市の市民として、取り組んでいきたいことや目標にしていきたいことについて話し合う。 ※三学期に予定されている総合的な学習についての校内発表会で発表予定。

2 児童の実態

右のグラフは、学習開始前の児童の合併に対する認知度を調べるために実施した、アンケート結果の一部です。9月の段階で新たに誕生する「霧島市」を構成する可能性の高い1市6町を想定して正答数を設定しその結果をグラフ化した。この結果からも市町村合併に対する児童の関心はとて低く、理解度も同様であることが分かります。

また、合併についての意見は賛否両論あり、大人のこういった意見を一方的に押しつけるのではなく、子どもたちの豊かな想像力でこれからの霧島を見つめる時間を創出しなければならないと考えています。このような実態をふまえて、3年生という発達段階を十分に配慮し、児童の抵抗感を払拭することを大きな目標の1つとして学習を始めることとなりました。



3 これまでの活動経過

本単元は、冒頭でも述べたように「霧島市」の誕生を視野に入れて、平成16年度2学期実施分として当初の計画を変更し特設したものです。



10月上旬から、協議会事務局ホームページで子ども向けに作成し公開して下さっている資料を中心に学習を開始しました。この学習が、子どもたちの合併に対する認識を、別世界の問題から自分たちにも大きく関係のある身近な問題であるという認識へと変容させる大きなきっかけとなったと考えています。

先日10月19日（火）には、始良地区合併協議会事務局より講師の先生（計画班木野田班長）に來校いただき、合併のしくみや協議会のはたらき、合併作業のこれまでの経緯について説明をしていただきました。その中で、児童から質問する機会を設定し、子どもたちの素朴な疑問に答えて頂きました。中には大人顔負けの辛辣な質問もあり、事前の学習の成果？も実感することができました。主な質問内容を下に列記しておきます。

・児童からの主な質問内容

- 合併したら大きなお店ができますか。
- どうして合併するんですか。
- 合併に賛成している人はどれくらいいますか。
- 市長さんは変わるんですか。

- 合併したらどんないいことがありますか。
- 合併したらどんなことが心配ですか。
- 合併に反対している人はどんな理由で反対しているんですか。
- 合併協議会ではどんな仕事をしているんですか。
- 合併協議会事務局ではどんな仕事をしているんですか。

4 今後の活動の展望

今後は、合併が行われた場合に新しく誕生する霧島市の姿を、具体的な数値や図表によって確認したり、今後の霧島そして霧島市が歩んでいく道はどうあるべきかについて3年生という発達段階ならではの自由で豊かな創造力の下に描いたりする活動を進めていきたいと考えています。

そして、今度は情報を発信する側に立って、その結果を全校の友達へまた保護者の皆さんへ、最終的には合併を予定している地域の全ての人たちに発信できるような活動に発展させたいと考えています。